



F/2.8

4.5cm



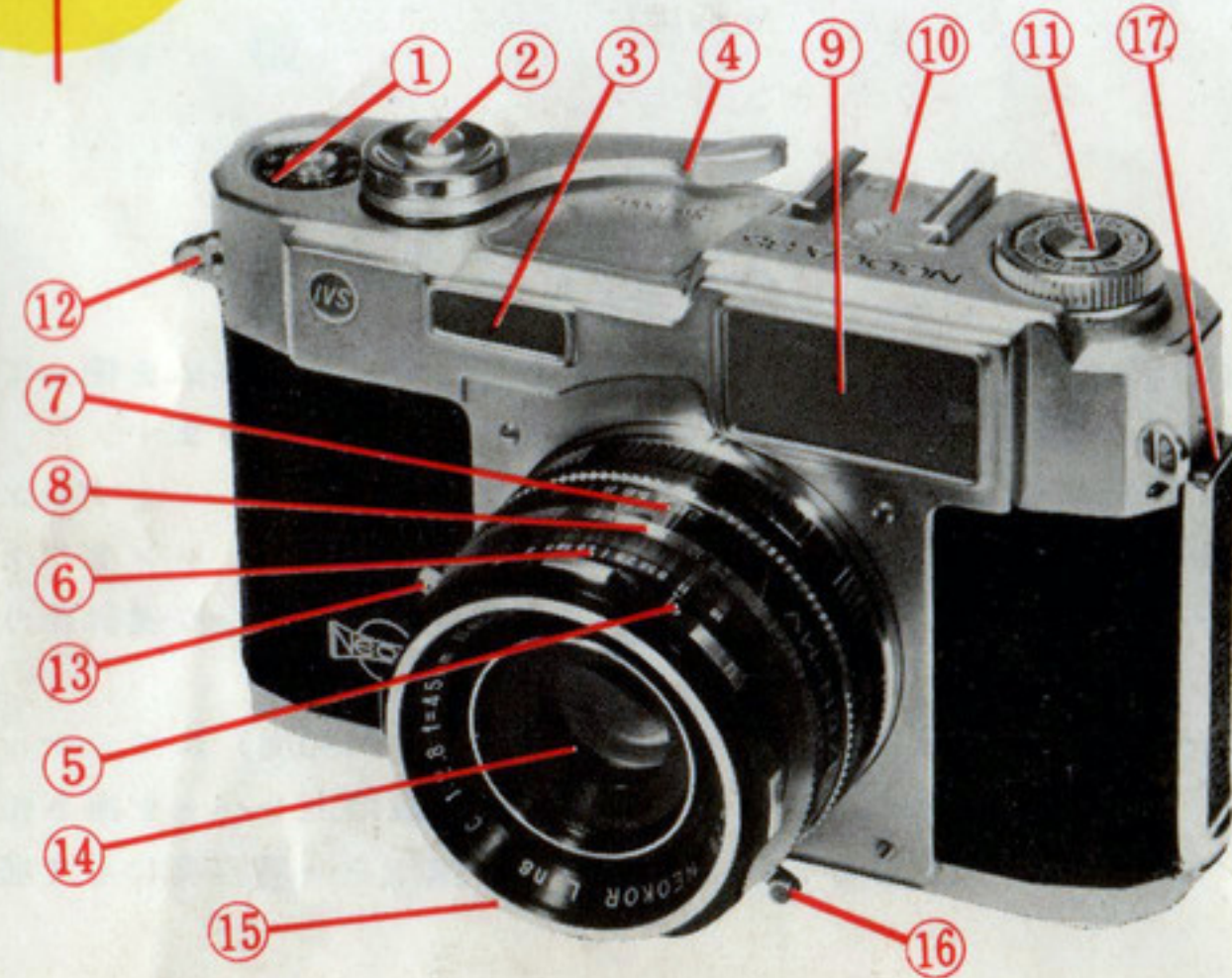
NEOCA **35**
IWS

NEOCA CAMERA CO.,LTD.

目次

各部名称	1
ネオカ35 IV S の機構	2
ネオコールレンズの特徴	3
ファインダーの見方	4
新機構について	5
シャッターについて	6-7
ネオカ35 IV S の操作方法	8-11
焦点深度の活用	12
深度目盛の見方	13
露出のきめ方	14
距り計の合せ方	16
フィルム指示表	17
フィルムの取出し方	18
フィルターの使用効果	20
専用フードについて	21
シンクロについて	22
取扱と保存上の注意	23
作 例	24

各部名称



- ① フィルム、駒数計
- ② ボディリリースボタン
- ③ 距り計窓
- ④ フィルム巻上ハンドル
- ⑤ 距り目盛
- ⑥ 深度表目盛
- ⑦ 絞り目盛
- ⑧ シャッタースピード目盛
- ⑨ 連動距り計ファインダー
- ⑩ アクセサリーシュー
- ⑪ 捲戻しノブ
- ⑫ 吊 環
- ⑬ シンクロターミナル
- ⑭ ネオコールレンズ
- ⑮ フォーカードリングダイヤル
- ⑯ セルフタイマーレバー
- ⑰ 裏蓋開閉レバー

ネオカ35.IVS

の機構

ネオカ35 IVSはライカ判専用カメラとして、35mmフィルムを使って其の精度を高めると共に速写性を十分に生かす様設計されて居ります。

ネオカ35 IVSは一眼式連動距離計ダイレクトフォーカシングシステムを持ち、前玉を廻転する事に依り明るい光棒式トリミング・レンジファインダーで常に正しい撮影の範囲が得られ操作の容易と共に完全な連動距離計であります。

同軸式フィルム捲上はレバー式ワンストローク(180度)にてシャッターコッキングとフィルム捲上が同時に行なわれます故捲上レバーを捲き距離計を合せシャッターを切る速写性にとんだ機構に操作を一層容易にして居ります。

ネオコールレンズ

の特徴

35mmカメラ御使用の場合は密着焼にて作画される事はほとんどなく高倍率の引伸に依り作画されるため、非常に高度な精能を要求されます。

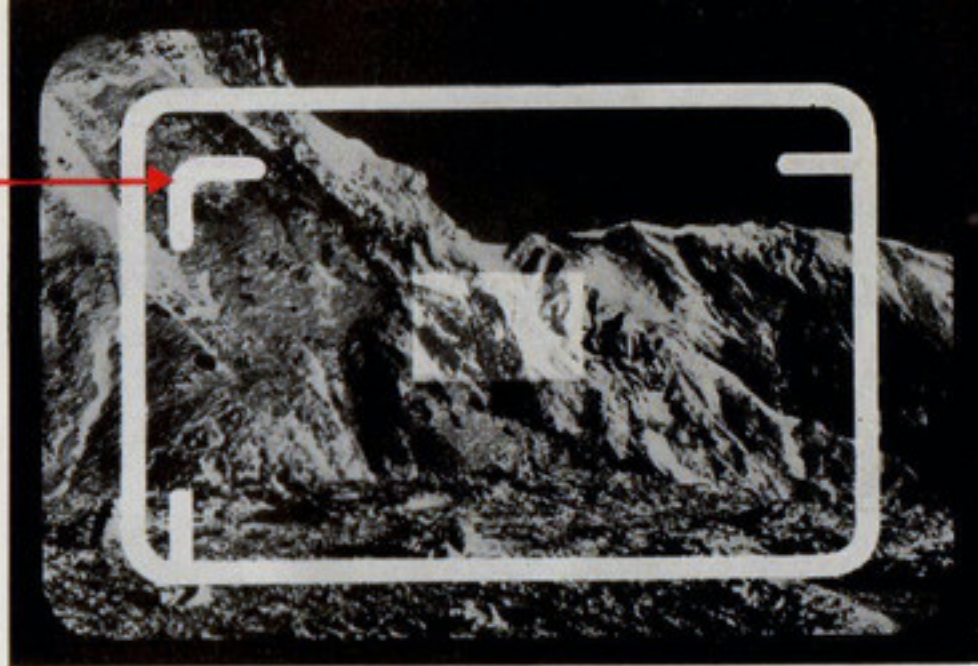
其のため弊社ネオコールレンズの使用材料は光学的、材質的に最も新歩した新種硝子を使用しております。

ネオコールレンズの45mmと云う焦点距離は準広角とも云われるもので焦点深度も深くスナップ撮影に至便です。

一大特徴として1.7呎まで近接撮影が可能なことカラー撮影に最適なアンバーコーティングとカメラの持つ完全なる内面反射防止装置によりカラー撮影にも安心して使用出来ます。

ファインダーの見方

3呎以下示標



明るく見易いブライトフレームファインダーです。ファインダーが明るく見易いということは焦点調節が正確で早いという利点があります。

35mm判カメラの生命は、焦点調節が容易ですぐピントが合わせられ決定的瞬間を捉えられることです。

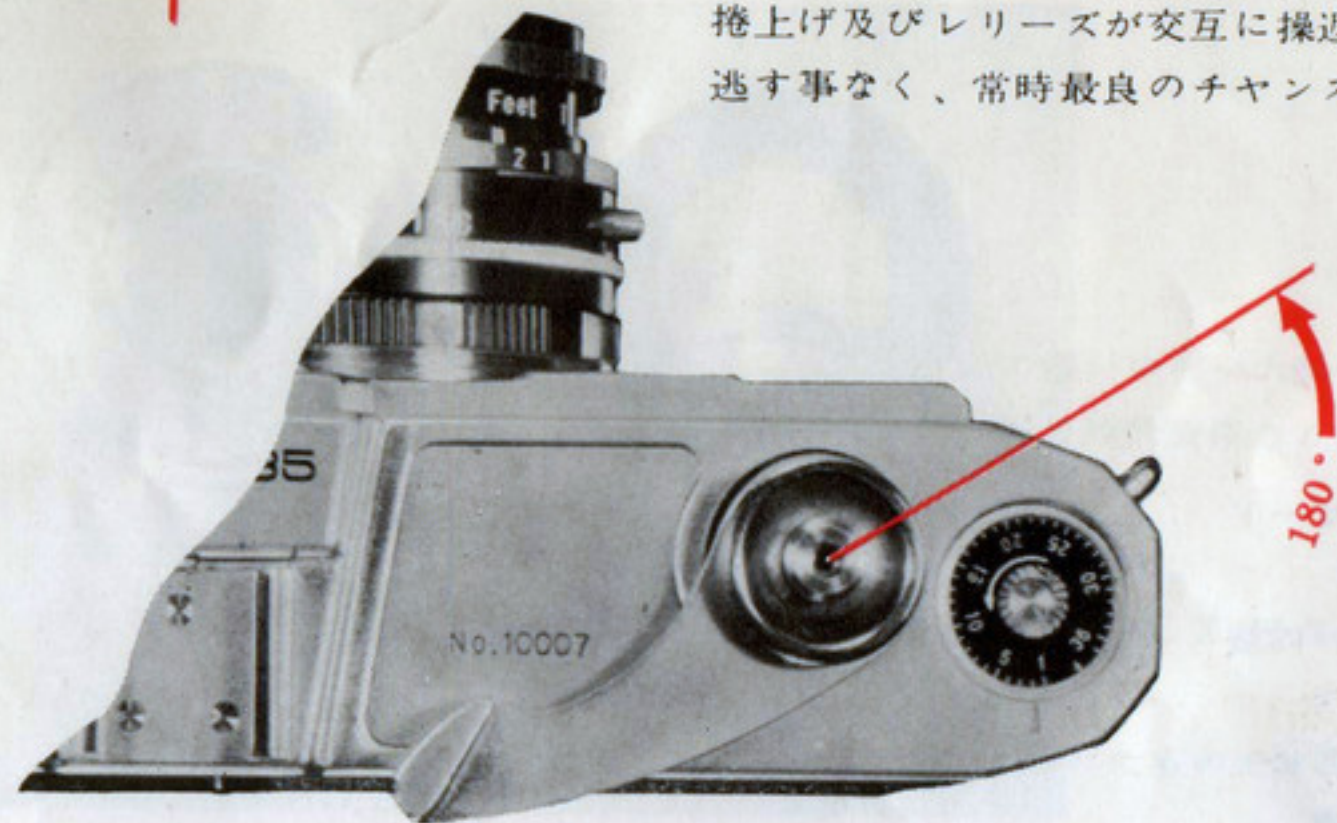
視点安定枠と視差矯正示標によって、常に正しい撮影の範囲が得られ、距り計付カメラにありがちのパララックスによる画面のケラレを未然に防ぐことができます。1.7呎迄の接写可能。

またブライトフレーム内の示標（補助線）は近距り撮影の場合の視差を矯正するために設けてあります。すなわち、3呎以内に接近して撮るときは、補助線にしがたって画面を右下に寄せシャッターを切れば、ファインダーで視た範囲がそのまま正しく写ります。

新機構について

同軸式セルフコッキング捲上げレバー

図に示すごとくVS型においては、捲上げレバーの中芯をボディレリーズ鉤の位置に移す事に依りカメラを構えたままの手の位置にて捲上げ及びレリーズが交互に操返されるため、シャッターチャンス逃す事なく、常時最良のチャンスをキャッチ出来ます。



シャッター について

シチズンシャッター

シャッタースピード

B. 1秒 - $\frac{1}{400}$ 秒

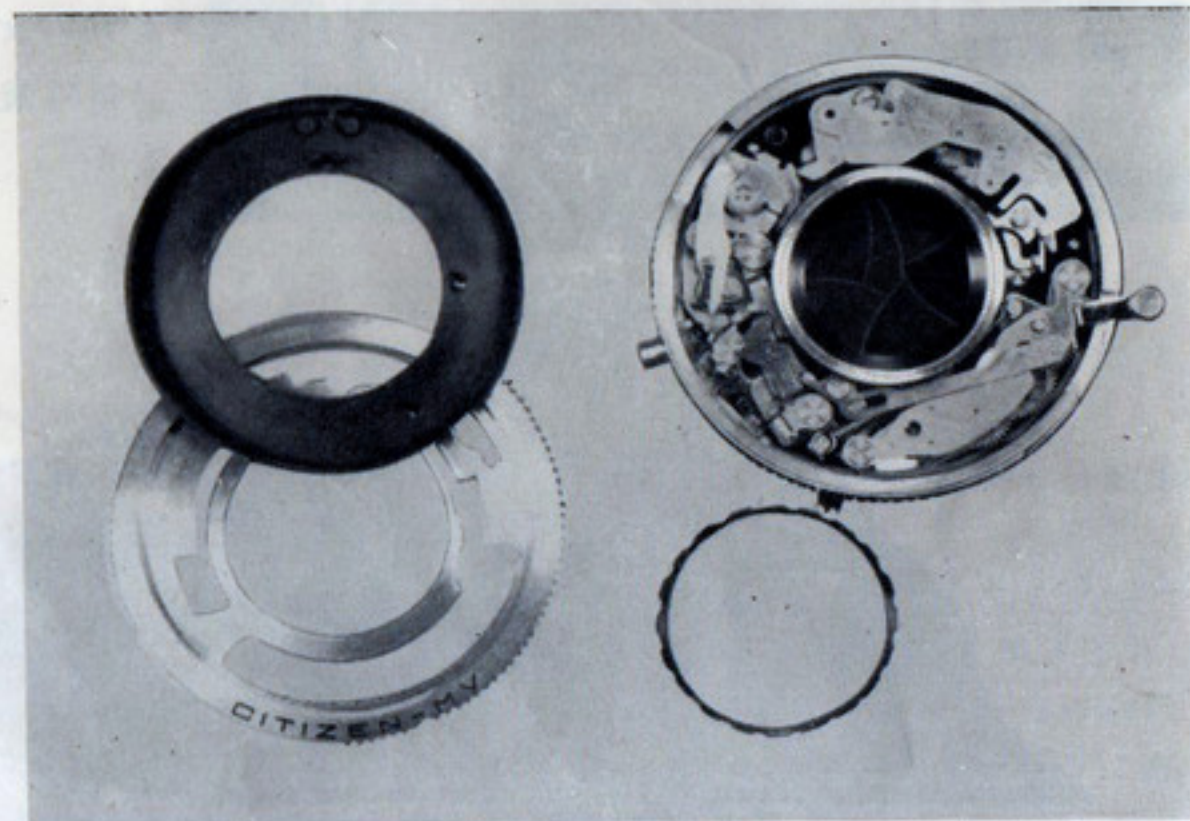
セルフタイマー内蔵

5枚羽根

フラッシュ撮影に

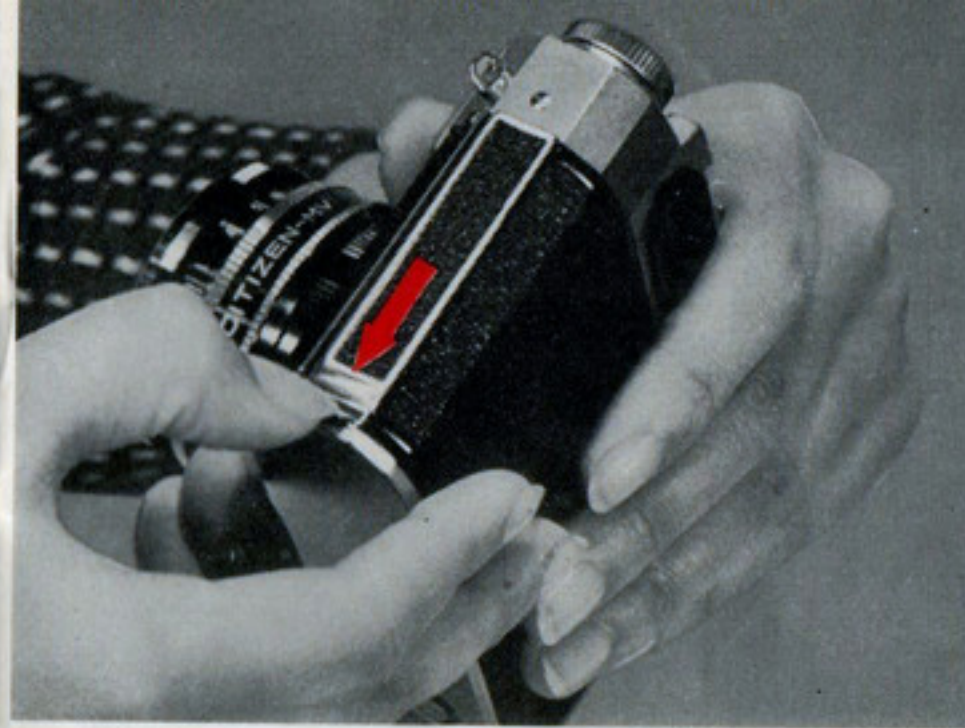
M. X. 接点装備

CITIZEN M.X. SHUTTER



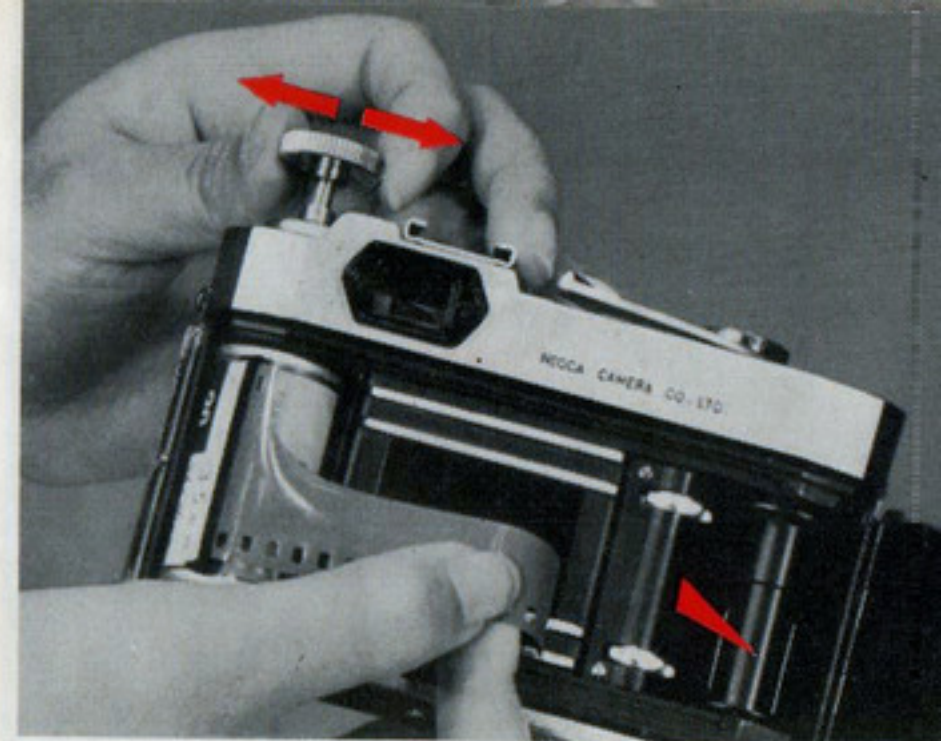
- ① シチズンシャッターは、レリーズアクションの軽いのを一大特徴と致して居ります。
- ② 我国有数の時計メーカーであるシチズン時計にて設計製作され厳密なる検査に合格したものです。
- ③ ブロンタータイプで故障絶無のシャッターであります。
- ④ 近代シャッターの必須条件であるフラッシュ撮影にM. X. 接点をビルトイン装備してあります。
- ⑤ デザインはネオカ35. IV Sのため特にデザインされたものです。

ネオカ 35. IV S の操作方法



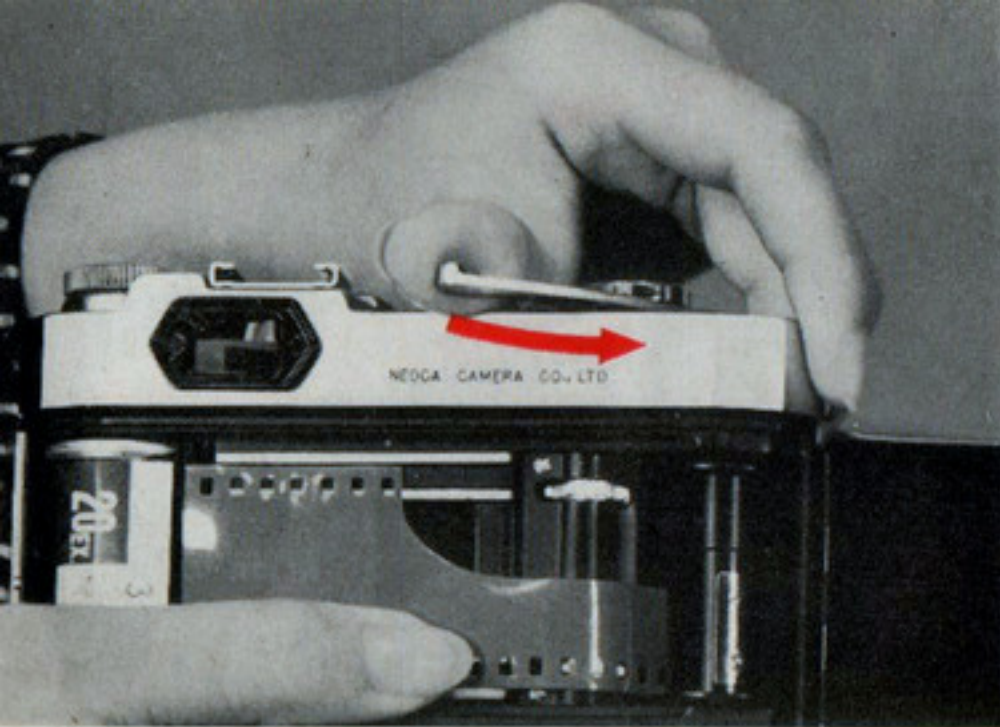
裏蓋開閉

開閉レバーを引き裏蓋を開きます。



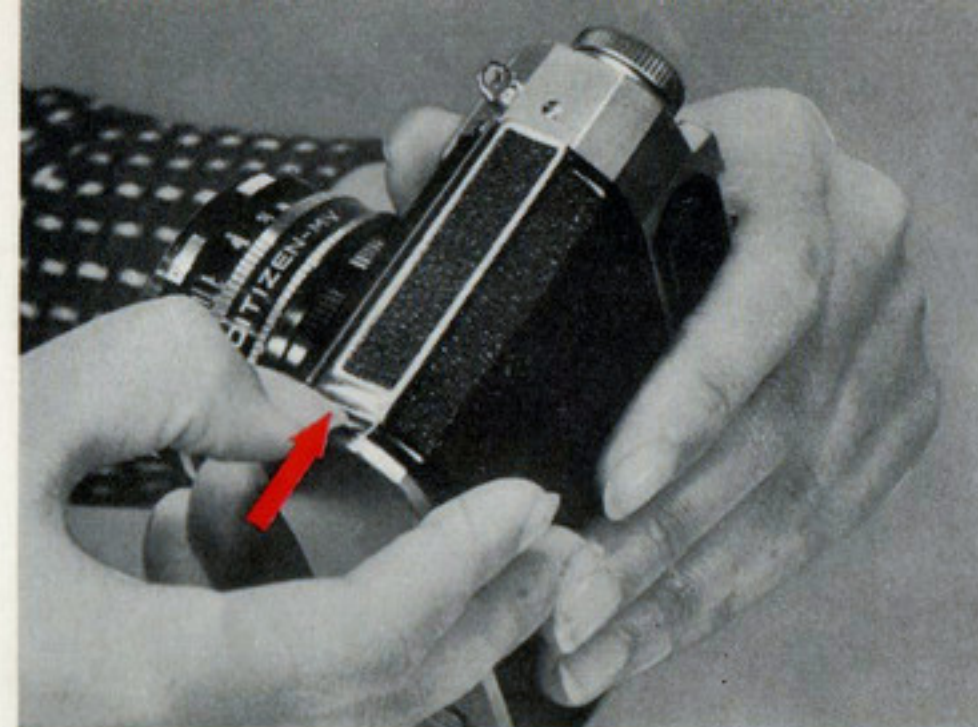
フィルム装填 A

捲戻ノブを引上げてフィルムを写真の様に装填し捲戻ノブを左右に廻しながら押しさげます。



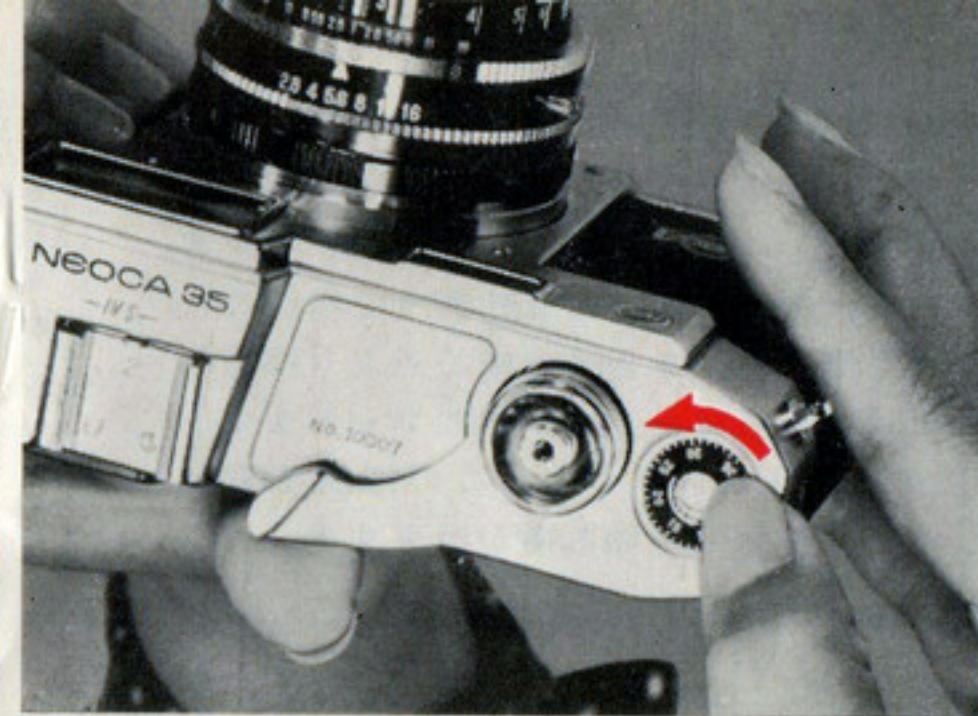
フィルム装填B

フィルムの先端を捲取軸のバネの間に差込みフィルムの両端のコマが歯車に入るまで巻きます。



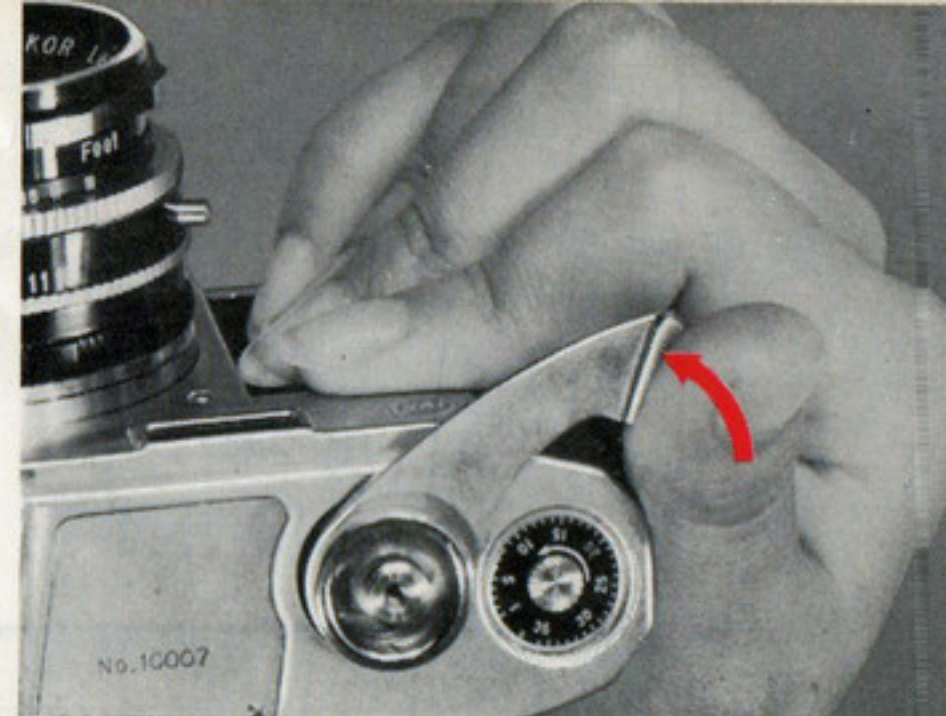
裏蓋開閉

裏蓋は写真の様に押え乍ら開閉金具を元に戻します。



フィルム指示

フィルム駒数計を矢印の方向に廻し乍らダイヤルの赤線をカバーの赤線に合せます。



撮影準備

捲上レバーとボディシャッターを交互に操作しフィルム指示表がNo. 1になるまで捲上げますと1枚目の撮影準備完了です。
捲上げハンドルは止るところ迄完全に捲上げて下さい。

焦点深度の活用

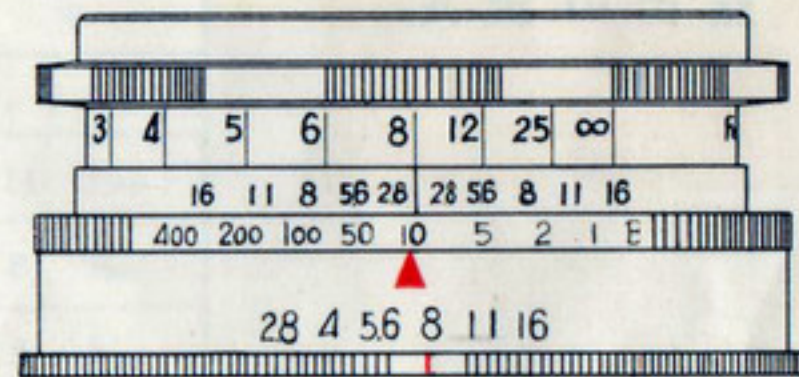
深度表

f = 45mmf / 2.8

焦点深度はレンズの絞りに関係があるだけでなくレンズの焦点距りの違いにより変化します同一F値のレンズでも焦点距りの短いレンズは深度が深く、長いレンズは浅くなります。又同一レンズでも近距りでは浅く遠距りでは深くなり尚ピントを合せた中心点より遠方に深く手前の方に浅くなっておりますネオコール1:2.8 F=45mmの深度表は下の通りです。この深度表に依り正しくピントの合う範囲を知る事が出来ます。

f \ feet	1.7	2	3	4	5	6	8	12	25	∞
2.8 近	1.68	1.96	2.91	3.84	4.72	5.61	7.29	10.4	18.9	75.3
2.8 遠	1.73	2.04	3.11	4.20	5.31	6.48	8.89	14.2	37.1	∞
4 近	1.67	1.95	2.88	3.77	4.62	5.44	7.02	9.87	17.1	54.1
4 遠	1.74	2.06	3.16	4.30	5.48	6.72	9.32	15.4	46.9	∞
5.6 近	1.65	1.93	2.83	3.67	4.48	5.25	6.68	9.22	15.2	37.7
5.6 遠	1.76	2.08	3.22	4.43	5.67	7.02	10.2	17.3	73.0	∞
8 近	1.63	1.90	2.76	3.55	4.30	4.98	6.25	8.40	13.0	26.4
8 遠	1.78	2.12	3.31	4.62	6.04	7.59	11.2	21.5	437.	∞
11 近	1.60	1.86	2.67	3.40	4.07	4.67	5.76	7.51	11.0	19.0
11 遠	1.82	2.17	3.47	4.92	6.59	8.52	13.4	31.5	∞	∞
16 近	1.57	1.81	2.54	3.19	3.76	4.27	5.15	6.48	8.87	13.4
16 遠	1.87	2.26	3.72	5.48	7.64	10.4	19.0	110.0	∞	∞

深度目盛の見方



今仮りに8フィートの物体を撮影する場合上図にみる様に絞りを8にすると大体7フィートから20フィートの間にピントが合います。又16迄絞ると4.5フィートから∞迄ピントが合います。

即ち絞りを余計に絞るとそれだけレンズに深みが出てくるわけです。これを焦点深度と云います。尚他距りの場合も同様にして深度を知る事が出来ます。

露出の決定

露出の決定は、絞りとシャッタースピードの調節により行います。絞りとシャッタースピードの調節は天候、季節、時間及御使用になるフィルムの感度(A.S.A)に依り異なりますから電気露出計を御使用になるかこれのない場合は簡易露出表を御参照の上適性な露出を決定して下さい。

午前10時～午後2時

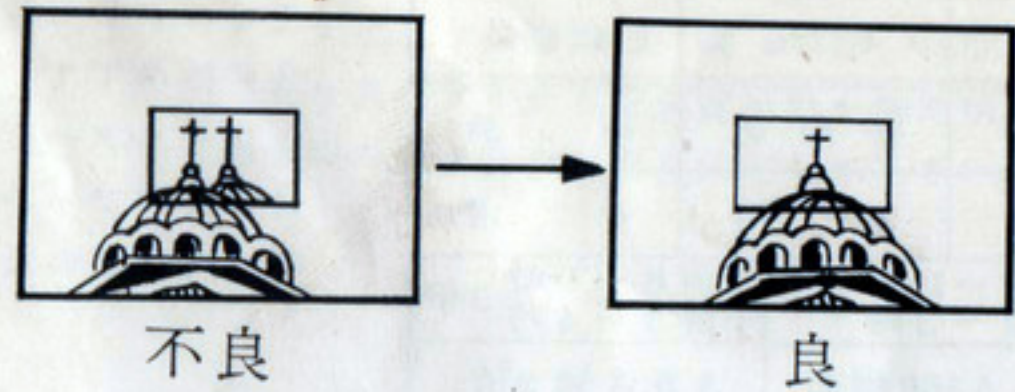
被写体	季節			
	春 3, 4, 5,	夏 6, 7, 8,	秋 9, 10, 11,	冬 12, 1, 2,
海、山、雪景	f 16 $\frac{1}{200}$	f 22 $\frac{1}{400}$	f 16 $\frac{1}{200}$	f 11 $\frac{1}{200}$
普通風景	f 11 $\frac{1}{200}$	f 16 $\frac{1}{200}$	f 11 $\frac{1}{200}$	f 8 $\frac{1}{200}$
明るい街路 スナップ	f 8 $\frac{1}{400}$	f 11 $\frac{1}{400}$	f 8 $\frac{1}{200}$	f 8 $\frac{1}{100}$
戸外集合人物	f 8 $\frac{1}{200}$	f 8 $\frac{1}{200}$	f 8 $\frac{1}{100}$	f 5.6 $\frac{1}{100}$
戸外人物大写真	f 5.6 $\frac{1}{100}$	f 5.6 $\frac{1}{200}$	f 5.6 $\frac{1}{50}$	f 4 $\frac{1}{50}$
日蔭人物	f 4 $\frac{1}{100}$	f 4 $\frac{1}{200}$	f 4 $\frac{1}{50}$	f 4 $\frac{1}{50}$
天候	快晴	薄曇	普通曇	極曇
	上記標準	2倍	3倍	4倍
時刻	午前10～午後2時 標準	午前9～10時 午後2～3時	2倍	
フィルム	ASA 200, $\frac{1}{2}$	ASA 100標準	午前8～9時 午後3～4時	3倍
			ASA 50	2倍

この露出表は快晴で日中11～14時ASA 100(SS)フィルターを使用しない場合の標準です。

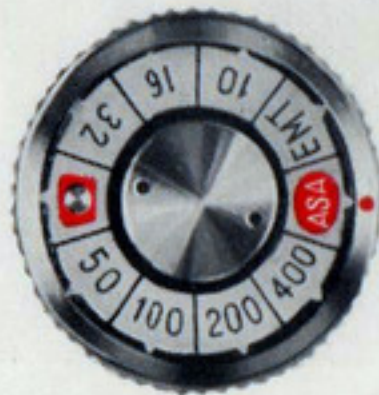
フィルターを使用する場合は其のフィルターの倍数だけ露出をあたえて下さい。

距り計の合せ方

ファインダーを覗き視野をきめます。下図に示された様に二重像が合致する迄、フォーカスダイヤルを静かに移動し完全二重像が合致した時静かにリリースボタンを押してシャッターを切り撮影して下さい。

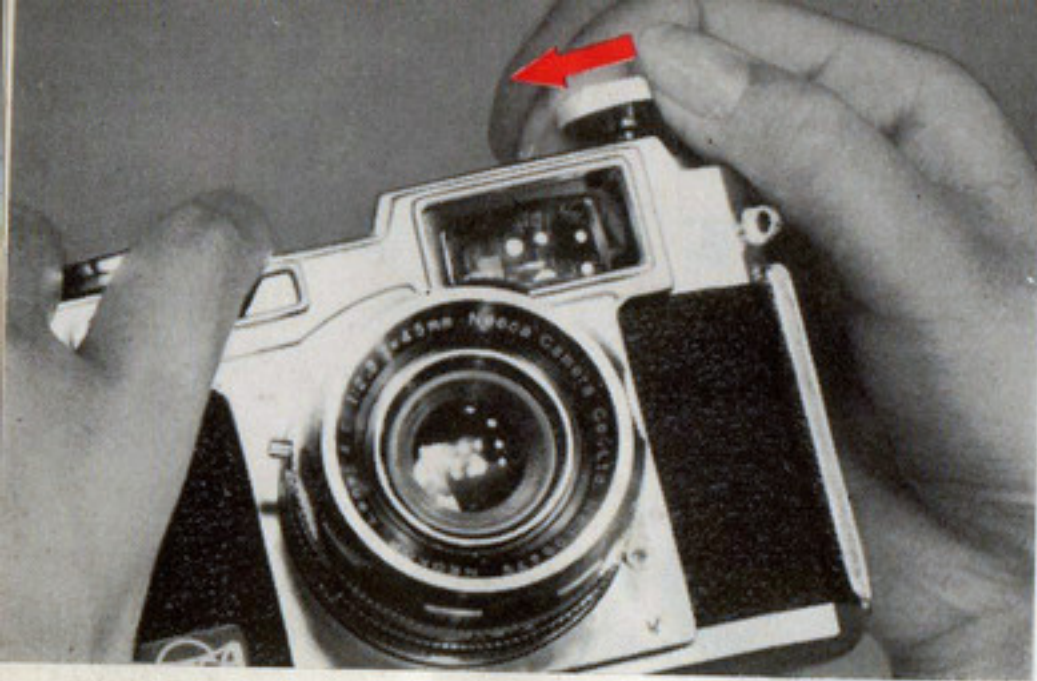


フィルム指示表



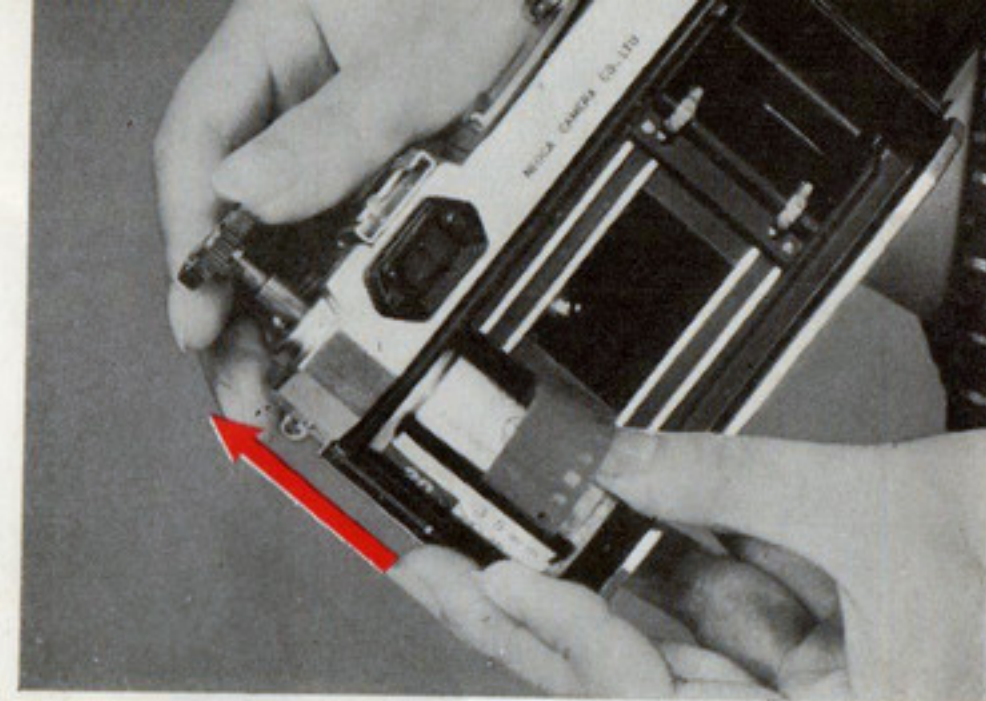
フィルム捲戻ノックの上部にフィルム指示表が装着されて居り装填されているフィルムの種別を知ることが出来ます。35mmフィルムは種類が多いので、どのフィルムを装填したか区別がつかなくなることがあります。

フィルムを装填された場合には必ずフィルムの種別に依る感光度 (ASA) の数字を指先にて廻し赤印に合わせておいて下さい。



フィルムの捲戻

撮影がおわりましたら上の写真の様に捲戻しボタンを押しながら捲返しノブを矢印の方向に捲返して下さい。



フィルムの取出し

全部捲戻しましたらフィルム装填時と同じ方法で裏蓋を開き捲戻しノブを引上げフィルムを取出して下さい。

FILTERS

フィルターの効果は今更述べるまでもありませんが、現在の感光材料ではフィルターは欠く事は出来ません。ネオカフィルターは数多いフィルターの中から最も利用度の多い品種を選んでネオカ専用としました。

40.5mm ¥450

27.0mm ¥280



ネオカフィルターの使用効果と特徴

Y₁ = 青空を背景とした風景、人物、建物草花等の撮影に多く利用され肉眼の感じに最も近い色彩の明暗感を顕して呉れます。

Y₂ = 大体 Y₁ に同じですが主題と青空とのコントラストは強くなりますから撮影意図に依り使い分けて下さい。

Y₃ = 強いコントラストを得るのに用います特に山岳遠影、海辺の撮影には視覚以上の克明な山肌や遠影を写し撮ります。

uv = カラー用としてデーライトタイプに多く用いられるヘーズカット（紫外線吸収用）として又レンズ保護用として常時装着して下さい。

ネオカフード

斬新的なスマートさ

完全なる内面反射防止

専用フードは取付けたままケースに入るので普段は取外しの必要はないのですがフィルター使用等によってこれを取外したり取付けたりして嵌込のバネがゆるくなった時は三箇所のパネを調節して御使用下さい。

ネオカカメラにはネオカ専用の
フィルター・フードを御使用下さい。



¥ 450

シンクロ

シンクロコード（ドイツ式）を、シャッターのシンクロターミナルに差込むだけであらゆる閃光電球を全シャッタースピードにフルシンクロ致します。閃光電球にはM級、F級の2種があります。

X接点、切換レバーをXの位置におき、シャッターを切ることによりシャッター全開時にシンクロし（タイムラグロ） $\frac{1}{100}$ 秒以上の高速シャッター使用の場合ストロボ専用となります（ストロボ使用時全シャッタースピード同調、 $\frac{1}{100}$ 秒以下の場合にはF級及M級等に同調致します）

M接点、切換レバーをMの位置におきシャッターを切ることによりシャッター開放前にシンクロし（シャッター全開時迄のタイムラグロ $18\frac{1}{100}$ 秒）M級の電球を使用することにより全シャッタースピードに同調します。

セルフタイマー使用時、シチズンシャッターM.X.は、今迄のものと異り、切換レバーをM.X.どちらの位置においた場合にもセルフタイマーを使用出来且又両者全シャッタースピードに同調致します。

カメラの取扱い と保存上の注意

カメラは高度な精密機械ですから機構を無視した無理な取扱をすると故障も起す原因となりますから決して無理な扱い方をしない様御注意下さい。

カメラを使用中

風の強い日等長時間裸のまま持ち歩かぬ事、雨の日は雨水のかからぬ様御注意下さい。特に雪の日の撮影には注意がおろそかになりがちです。

夏季、海浜に御出かけの時は海水（シブキ）及砂ホコリ等

使用后保存

カメラのメッキ面は軟かい布で拭きカメラ内部や裏蓋を刷毛又は手動送風器にて清掃の上シャッターはセットしたままでなく必ずリリースしレンズ面は羽毛又は刷毛で塵を払ってからレンズ紙又はよく洗った軟かい木綿布で拭きレンズ面に搔傷をつけない様にします。



作 例

F2.8ネオコール・ネオパンS

F8, Y 2.1¹⁰⁰

愛用者の皆様へ

不慮の災難等で万一本機が故障致しました場合には、無料にて責任をもってお直し致しますから必ず検査証を添付してカメラをお求めになった販売店か或は弊社へ直接御連絡下さい。

東京都千代田区神田旭町16番地

株式会社 **ネオ力**

電話 (25) 4566・7022



株式会社 **ネオカメテ**